

日本の
学校に
通いながら、



ダブルスクール プログラム



海外の学校に
通いませんか？



～子どもから大人まで、海外体験を支援して26年の実績～
インターナショナル・インターンシップ・プログラムス

子どもの英語教育について、iIP が思うこと。

近年、英語教育の早期化やインターナショナルスクールへの入学希望者が増えています。子どもに国際感覚を身に付けさせたいと願う一方で、母国文化を十分に身につけずに成長することに懸念の声があがっているのも現実です。日本人としてのアイデンティティや十分な日本語力を持たないままに、英語を話せるようになったとして、果たしてそれが望むべき結果といえるのでしょうか。そこで私たちは、日本の学校に通いながら、同時に夏休みや春休みを利用して海外の学校にも通う「ダブルスクール」を提案します。このプログラムでは、日本の学校で母国文化の教育も受けつつ、同時に海外で語学や異文化理解力を身につけることができます。海外で自立心を養い、自分の意見をはっきりと言えるようになること。これからの社会を担う子どもたちに、このプログラムを通じて語学力だけではなく、人間としての大きな成長をしてほしいと思います。



1. 海外の学校で「一人の生徒」として通学します。だから英語も自然と上達。

お子さんは海外の好きな国で、地元の子供たちと一緒に学校に通います。一人の生徒として授業を受け、学校の行事にも参加します。子どもの適応能力は予想以上に高いもの、すぐに現地の子どもたちと仲良しになるでしょう。一度通った学校には、またいつでも戻ることができます。日本にいる間、友達になった生徒とはEメールや手紙でやりとり。日本が夏休み・春休みになったら、またその学校に戻って、クラスメートとお互いの成長を確認し合います。毎年、同じ学校に通うことで、学校の先生や地域の方々も成長を見守ってくれます。最初はつたなかった語学力も行く度に自分の自信へとつながり、積極性や行動力が自然と身についているのを感じるはずです。夏休みと春休みで行く国を変えることも可能です。原則として保護者同伴となります。世界で成長するお子さんの様子をそばで見守ってあげてください。

2. 滞在はホームステイ。海外にもう一つの「家族」を持つことができます。



ホームステイの良いところは、学校生活では得られない語学の修得や異文化をじかに体験できること。家族の一員としてホストファミリーと共に過ごすことは、ただの友達としてよりもっと深い感情をお互いに持つことになります。ホストファミリーと一緒にご飯を作ったり、お掃除を手伝ったり。日本の家庭ではしたがない仕事も海外だと積極的にするお子さんの姿がそこにはあります。通学する

学校からホストファミリーが紹介されるので安心です。

3. 何度も通う「母校」を持てます。卒業証書や学業修了書の取得が可能です。

一度参加した後は、何度でもその学校に戻ることができます。ある一定期間通学することで、卒業証書や学業修了証書を取得することができます。日本を離れていた期間も、十分な教育を海外で受けてきたことの証明になり、進学や転校などの際にも証明書として有効です。

募集要項

応募資格： 日本の小学校～高校に在籍している方、心身共に健康・明朗活発で無犯罪歴の方

参加期間： 1週間～16週間 ※これ以外の期間をご希望の場合はお問合せください。

出発時期： 希望出発時期（現地の学校の長期休暇期間中を除く）

2,000 円（消費税込み）

選考料：

※選考料振込先は以下の通りです。参加者（お子さん）名でお振込ください。

三井住友銀行 洗足支店 普通 5061611 インターンシップ・プログラムス

※選考料振込と同時に、選考申込書に必要事項を記入の上、以下まで郵送してください。

〒113-8419 東京都文京区西片 2-22-21 iip「ダブルスクール」係

※申込書到着及び選考料振込確認後、随時選考試験を行います。面接か電話でのインタビューとなります。

登録申込費： 105,000 円（消費税込み） ※参加費用には充当されません。

初回登録期間： 2年間

※登録期間中に出発をすること。一度参加した後、2回目以降の出発は登録料無しでいつでも可能。

対象国：

アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、イギリス、アイルランド、

北欧諸国、その他各国（ご希望の国がありましたらお問合せください）

※北半球の国では、夏休み期間が日本の夏休み期間と重なる場合があります。その場合には、イヤーラウンドスクール（9週間の授業と3週間の休みが1年を通じて繰り返される4学期制のプログラム）などが対象になります。

学校レベル： 小学校・中学校・高校

滞在方法： ホームステイ ※お子さん一人で参加の場合、学校の寮になる場合があります。

参加費用

（消費税込）：

1週間：¥226,000 2週間：¥286,000 3週間：¥346,000 4週間：¥406,000

5週間：¥456,000 6週間：¥506,000 7週間：¥551,000 8週間：¥596,000

9週間：¥641,000 10週間：¥681,000 11週間：¥721,000 12週間：¥761,000

13週間：¥801,000 14週間：¥836,000 15週間：¥871,000 16週間：¥906,000

※お子さん一人が参加する場合の料金です。

参加費用に

含まれるもの：

就学費、現地空港出迎え、プログラム登録時から出発・就学中・帰国までのサポート費、
渡航前の語学サポート費、就学先の開拓・確保・選定にかかる諸費用

参加費用に

含まれないもの：

滞在費（1日2食付）、往復航空券、現地交通費、
ビザ・入国に関わる費用（必要な場合）、
海外旅行傷害保険、小遣いなどの個人的な費用

※滞在費例（以下いずれも1週間・一人分）

◆保護者が同伴する場合：

AUS\$100 NZ\$170 USA\$70 CAN\$100 UK£100

◆保護者が同伴しない場合：

AUS\$200 NZ\$340 USA\$140 CAN\$200 UK£200

※滞在費は、直接現地ホストファミリーにお支払いいただきます。

お子さんだけの参加の場合、iipにて事前に滞在費をお預かりし、ホストファミリーに送金するサービスを行っています。



※14歳未満のお子さんが参加の場合、原則として保護者同伴となります。

お子さんだけの参加を希望の場合は別途ご相談ください。

海外で成長した私の子どもたち！

吉田優里さん

10歳と6歳のお子さんを連れて2003年4月から12ヶ月間ニュージーランドで生活。吉田さんが地元の学校で日本文化や日本語を教える傍ら、2人のお子さんは現地の子どもたちに交じって通学しました。

私達の学校は、田舎にぽつんと立っている生徒数約30名のとても小さな学校。渡航前に校長先生が学校の写真を送ってくれたのですが、一瞬、ホストファミリーの家の写真かと勘違いしてしまったほどです。しかし、学校が始まり一週間経った頃には、**妙に溶け込んでいる自分達**がいました。規模が小さいので全員の名前もすぐ覚え、みんな気さくで、肩肘を張る必要がまったくありませんでした。**子供達にもすぐに友達ができ、放課後私が学校の用事**



で残っていても、学校の隣の敷地で暮らしている校長先生の子供と一緒に野原を駆け回り、はたまた校長先生のお家に上がり込んで自由に遊んでいました。教室では、徐々に他の生徒と同じペースで勉強するようになり、時には日本の方が進んでいる**算数を現地の友達に教えてあげる**など、良い友人関係が作れたようです。新しい英語を次々とピックアップする力は、長年英語を勉強してきた私なんかよりもずっと優れていて、遊びなどを通して**テンポの速い英語**などは子供のほうが、

ずっと早く理解していました。ホームステイ先は、小学校に通っている生徒の祖父母宅。祖父母といってもまだ50代前半でバンド活動を続けている活発なご夫婦でした。ホストファミリーとの生活で一番印象に残っているのは、親戚のメンバーが誕生日を迎える毎にみんなが集まって開く盛大なパーティでした。ホストファミリーは私達親子を**本当の家族の一員として扱ってくれ**私達3人の誕生日パーティも親戚の人達と全く同じように開いてくれました。また、同じ学校の生徒でもあるホストファミリーの孫と私の子供達は、兄弟のように過ごしていました。子連れで一つ屋根の下に住まわせてもらっているわけなので、もちろん日々の生活ではごたごたも一杯ありました。言い合いして泣いてしまったことも何度かありましたが、考えてみると、今まで全く会ったこともなかったあかの他人と**お互いを理解しようとしながら、家族として一緒に暮らしているなんて、なんと素晴らしく貴重な体験**をしているのだらうとよく思ったものです。ホストファミリーの家は農場でも何でもないので、1万平方メートルの敷地の中には池もあり、ペットは犬3匹、猫2匹、牛2匹、鹿3匹、羊1匹（これが全部ペットなんです！）という**日本でマンション暮らしの私達には想像もつかないような生活**でした。子供

達はそれまでは動物に身近に接するという経験もなく犬や猫が寄って来ても触ることもできず、怖がって逃げてしまうような子供達でした。それが、いったんニュージーランドの生活が始まるとそんなことも言っていられない状況に追い込まれました。



最初は家にいる犬や猫を抱いてやることから始まり、牛や鹿に餌をあげたりと**日が経つにつれ、少しずつ動物に馴染んで**いきました。ホストファミリー宅で飼っている猫が庭で野生のうさぎをいたずらして殺してしまった時のことです。ホストマザーと話して、土を掘って庭に埋めてやろうということになったのですが、娘が「埋める前に一度抱かせて欲しい」といい、死んだうさぎを自分の胸のところに持って行き、いとしそうに抱きかかえました。私はそんな娘の姿を見て、**娘の中に動物を想う優しい気持ちが育まれている事**に気づき、とても感動しました。子供達は日本の都会生活では決して体験することのできなかった**自然と共存することの意味**をニュージーランドの生活で学んだと思います。

ダブルスクール Q&A

Q. 参加国や学校は選べますか？

A. ご希望をお聞きした上で、参加国・学校は受入先の要望やお子さんの語学力などを考慮し、決定します。

Q. 選考試験はどのような内容ですか？

A. 参加者であるお子さんと保護者の方（同伴の有無に関わらず）と一緒に受けていただきます。面接・電話に関わらず、参加者・保護者と日本語でお話させていただき、参加者のお子さんには、英語（または希望研修国の言語）での簡単なインタビューを行います。特に筆記試験はありません。

Q. 在籍する学年は日本と同じですか？

A. 基本的に日本の学校と同学年になりますが、多くの国では、始業の時期が8～9月ということもあり、必ずしも日本と同学年とは限りません。また、語学力等によっては、在籍する学年を下げることも可能です。

Q. 費用はどれくらいかかりますか？

A. 国や滞在する地域によっても異なりますが、例えば親子で参加の場合、オーストラリアに4週間の参加で約90万円（申込金・参加費用・航空券・海外旅行傷害保険・滞在費含む）が目安になります。

Q. 参加費用はいつ払うのですか？

A. 研修先決定後、ご出発の1～2ヶ月前に請求書をお送りいたします。

Q. 必ず保護者の同伴が必要ですか？ 両親以外の大人でも大丈夫ですか？

A. 14歳未満のお子さんが参加する場合には、原則として大人の方（21歳以上）に同伴していただきます。おじいちゃんやおばあちゃんも可能です。国や州によっては法律や条例で14歳未満のお子さんを1人で留守番や行動をさせてはいけないと定められています。また、特に小さなお子さんにはご家族の方が一緒に付き添っていただくことをお勧めします。

Q. 保護者が同伴しない場合、費用はどうなりますか？

A. 滞在費が異なります。（募集要項参照）また、現地空港出迎えに際し、最寄の国際線空港まで出迎えを依頼する場合に別途費用がかかることがあります。

Q. いつぐらい前に申込みばいいですか？

A. 希望のご出発日の約3ヶ月前までには、選考をお申込下さい。研修期間が12週間以上の場合には、4～5ヶ月前までの申込をお薦めします。

Q. 登録申込費はいつ支払うのですか？

A. 選考試験後、選考結果通知を郵送にてお送りいたします。その後、約2～3週間が登録手続期間となり、この間に登録申込費をお支払いただくことになります。

Q. ホームステイではない滞在方法がありますか？

A. 基本的にホームステイですが、保護者が同伴される場合は、アパートを借りることも可能です。また、お子さんだけの参加の場合、学校の寮が手配されることもあります。

Q. ビザの取得は必要ですか？

A. 12週間以内のご参加であれば、基本的に必要ありませんが、研修国によってはビザを取得していただく場合があります。必要な場合は、申込時にお知らせします。

Q. 通学にあたり、制服や教科書などは必要ですか？

A. 通学する学校によります。必要な場合には、別途現地で購入していただくことになります。

Q. 保護者は滞在中何をすればいいのですか？

A. 特に決まった活動はありません。お子さんの通う学校でボランティアとして日本文化を紹介したり、学校行事のお手伝いをすることも可能です。語学学校や観光も可能です。ホストファミリーのお手伝いや共通の趣味を楽しむことも良いですね。

Q. 日本の学校を休んで参加することはできますか？

A. 学校から許可が下りれば可能です。詳しくはお子さんが通学している学校や教育委員会にお問合せ下さい。